

岡山勝廣 後援会だより



創ろうみんなに住みよい六ヶ所村を

第19号



平成20年12月

発行元 岡山勝廣後援会 〒039-3215 六ヶ所村大字倉内字笹崎 1031-11

TEL 0175-74-2557 (FAX兼)

ホームページ: <http://www.kokayama.com/>

メールアドレス: koka@jomon.ne.jp

トピックス

岡山勝廣 一般質問に立つ

村内の学校における環境・エネルギー

教育の現状について (1~3ページ)

「道の駅」設置について、その後の

進行状況について (3ページ)

平成20年12月 六ヶ所村議会定例一般質問

村内の学校における 環境・エネルギー教育の現状について

岡山議員

現在六ヶ所村では独自の環境・エネルギー教育を実施していると聞いております。先般の一般質問でも発言致しましたが、六ヶ所村は現在、再処理工場を含む原子力関連施設、ITER計画に係わる核融合研究施設、世界で初めての蓄電池併設型の風力発電等、様々な最先端エネルギーの研究・実証が行われており、再処理工場の本格稼働については目前となっております。

す。

これらは国内に留まらず、世界的にもエネルギー関連分野において六ヶ所村は、極めて重要な役割を担っていると理解しております。

このように、刻々と変化を遂げているエネルギー開発の現状を、まのあたりに体感する事が出来るのは、他には見られない、貴重な地域で有ると思っております。

又、本年度は国際学校が開校され、世界の子供達が学んでいる中で、外国の子供達が地域の子供たち同士が触れ合う機会も多くなると思います。

全国的には、それぞれの地域の特色に合わせた様々な教育が行われていると聞いています。六ヶ所村としての特色の有る教育が出来るのではないのでしょうか。

エネルギー関係最先端の地に住む我々は、それをメリットと捉え、若年層からこのような環境を最大限に活用して、六ヶ所村ならではの独自の教育システムが必要なのではないのかと考えます。エネルギー教育では他の地域に負けない指導が出来るのではないのでしょうか。



質問

現状のエネルギー関係の教育カリキュラムは具体的にどの様になっているのか、また、更なるエネルギー教育を推進する為の方策についてどのように考えでしょうか。村長のお考えをお聞かせ頂きたい。

吉村長

国の定める学習指導要領に基づいて、それぞれ「総合的な学習の時間」、あるいは中学校の理科の「科学技術と私たちの未来」の時間で一般的な学習を行う事になっております。

小学校においては、総合的な学習の時間において、エネルギー資源の有効利用、自分たちの生活との関わりと共存、環境保全などについて体験を通して、自ら学び自ら考える力を育成することを、また中学校においては、エネルギー発電の原理、エネルギーと環境問題、環境保全について小学校で培った基本的なエネルギーに関する知識をさらに深化させ、自ら判断し、行動できる能力を育成することをねらいとしてお

ります。これらの学習に要する年間の授業時間は、小学校で10時間程度、中学校で15時間程度となっております。

また村では、環境・エネルギー教育推進運営委員会を設置して、各校の理解と協力を得ながら、これらに関連した石油備蓄基地、原子燃料サイクル施設、原子力発電施設の見学会を各校で1回は実施するとともに、エネルギー関連器具での実験などを通して、授業で勉強した内容を具体的な学習で理解を図っているところであります。

今後の取り組みについては、今年3月に学習指導要領が改訂され、正式には2011年度以降に本格導入されることになっておりますが、来年度から理科等一部については、前倒しで実施される部分も出て参ります。

総合的な学習の時間は、小・中学校ともに取り扱いは変わらないため環境やエネルギーについては現行と同程度と思われる。理科については、小学校では風力発電を利用したものづくりなど新しい内容が付加され、中学校では放射線についての学習が必修化されて、時間数、内容ともに増加するので、今まで以上にエネルギー関連の理解

が深まるものと考えております。また施設見学会についてもこれまで以上に村内の関連施設等を活用し、より一層体験学習の充実を図って参りたいと考えております。

いずれにしても、学習指導要領の定めるカリキュラムを着実に実施して行く過程で、エネルギー政策の中で六ヶ所村の置かれた状況を活用した事業を実施して、児童生徒の環境・エネルギーに対する理解を深めて参りたいと考えているところであります。

岡山議員

教育次長へ質問

六ヶ所村の教育の状況と学力について教えてください。

教育次長

六ヶ所村の学力の現状ですが、村報に掲載したとおり全国的に低い水準であり、数年続いています。

平成20年4月より「教育対策室」を設置し、小中学校の教師を指導しております。

現在、村では村営学習塾を設置しており、そこで168名の児童が学校以外の時間で勉強をする環境を整えております。

岡山議員

教育長へ質問

六ヶ所村の教育の今後の展望について教えてください。

教育長

六ヶ所村は環境・エネルギーについて全国的に貢献している村であることを認識しております。

今後も環境・エネルギー教育について全力で取り組んでいきたいと考えております。

岡山議員

村長へ再質問

村が独自に教師を採用し、六ヶ所村に骨をうづめる人が教師をしてほしいと考えています。その方法はないものでしょうか？

吉村村長

現在、放射能に関する教育は実施しております。加えて、村独自の工夫したカリキュラムを実施しております。さらに村独自講師を各学校に派遣しております。

また、現在は英語・数学の教師を募集しており、最長5年の雇用期間を考えております。

**「道の駅」設置について
その後の進行状況について**

岡山議員

六ヶ所村の「道の駅」設置についてですが、平成16年6月と平成18年9月の2回にわたり質問を致しております。

前回の答弁にて、平成19年度において、施設内容や運営方針等について各課連携による検討委員会を設置し、基本構想を作成するとありました。

質問

その後の進行状況がどの様になっているのか、お聞かせ頂きたい。

吉村村長

村では現在、次世代エネルギーパーク構想を進めておりますが、この整備推進協議会では国道338号線をエネルギーロードとし、エネルギーパークのセンター機能と

「道の駅」の機能を併せ持つエネルギーの駅のような施設も検討されております。

また、庁議において運用方法等に十分協議が必要とされたことを踏まえ、報告書により課題とされた「他の道の駅とは異なった施設が望ましい」ことや「施設整備の前に運用ソフトを策定すること」などについて十分検討し、慎重に進めて参りたいと考えております。

岡山議員

企画防災課理事へ質問

「道の駅」設置のための「次世代エネルギーパーク構想」についてどこまで進んでいるのでしょうか？また実現するのは平成何年になるのでしょうか？

企画防災課理事

年々、社会情勢と村民のニーズが変化します。「次世代エネルギーパーク構想」はその変化を踏まえ、計画し、また建設して終わりではなく、その事業が継続するようランニングコストなどの詳細な検討を進めております。現在、次世代構想検討委員会において検討を進めており、その結果が出るのは平成22年3月です。